

## 第11回 マンガの中の沖縄の歌手たち



沖縄出身の歌手といえば、今でこそ数多くいるのですが、一昔前まではさびしい限りでした。

それでも、南沙織からはじまって、フィンガー5……スピードと次々と現れる歌手たちは、日本中に沖縄の存在感を十分にアピールしています。

今回は、実在する歌手から、架空の歌手まで含めて、沖縄出身の歌手を取り上げたマンガ作品を紹介します。



眠らない街・東京で、沖縄ロックの女王・神崎ローズの唄が響く。芸能界を支配する闇の力に対抗する彼女の魂の叫びが、多くの聴衆を魅了する……。「ローズ伝説」(作/石原信一 画/千葉きよかず 日本文芸社刊)は、そんな作品。モデルは、沖縄ロックの女王・喜屋武マリーではないかと思います。2巻が見つからないのは、途中で終わってしまったからでしょうか?今のところ不明です。



続いては、航空機まんが収集のMEGからの紹介で確認した作品を紹介。

「プロフェッショナル・スチュワーデス!!」(原作/蘭佳代子 画/かたやままこと 白泉社刊)の「第6話 タービュランス(乱気流)」で、機内で産気づいた妊婦のため、「花」を歌う主人公。それをサポートする沖縄出身の歌手・KAZU(架空)の美形のモデルは誰でしょう?「花」の歌詞が効果的に使われて心うつエピソードになっています。



次は、「超ド級無敵アイドル戦隊バトルフィンガーファイブ」(市東亮子/著 秋田書店刊)です。

見てのとおりに、フィンガー5のキャラクターを主人公にしたハチャメチャコメディまんが。

アイドル歌手を狙う謎の敵と戦うため誕生したアイドル戦隊フィンガー5。敵は芸能界を憎むマッドサイエンティスト。(完全に東映のスーパーヒー

ロー戦隊ののりです。)

ちなみに、この作品はフィンガー5全盛期の作品ではなく、1990年代の刊行です。グループの息の長い人気と知名度に脱帽します。

なお、フィンガー5全盛期の作品としては、

- ① 「フィンガー5 物語」(原作/井原まゆみ 画/岡崎優) 「別冊少年チャンピオン」1974年4月号収録
- ② 「フィンガー5 物語」前後編(原作/庄司八郎 まんが/瀬川じゅんとアートプロ) 「小学4年生」1975年4月号～5月号収録
- ③ 「ぼくらはわんぱく5人組～まんが/フィンガー5～」前後編(みなもと太郎/著) 「小学4年生」1974年8月号～9月号収録



があったようです。

いずれもコミック化はされていないようです。



お次は、「とってもしBB」全3巻(今井康絵/著 小学館刊)「はじめてB. B」全5巻(同)。

沖縄アクターズスクールを舞台に、歌手をめざす沖縄の女の子(架空)の物語。

詳細は、皆さんで読んで確かめてください。

作中に、その後有名となったタレントがいろいろと出ているようです。少女漫画です。



なお、沖縄アクターズスクールの協力で作られたまんが? としては、「あなたもアイドル」(こやまゆき/著) 「小学3年生」1997年11月号収録もあるようです。



「こんなのもあるぞ。」ということで紹介するのは、「**SPEED メモリアル**」(作画/井出智香恵 蒼馬社刊)。

彗星のようにデビューし、日本中の少年少女たちを熱狂させた沖縄出身のグループ・SPEED。4人のメンバーの生い立ちと5年弱の活動の記録。

その後復活して活動を再開していましたが、今、活動はどうなってるのかな？ また休止？



コミック化されていないのですが、こんな作品もあります。

「**ティンクティンク**」(白鳥希美/著 「**ちゃおデラックス**」2005年掲載)は、沖縄出身ユニット・ティンクティンクを紹介したもの。

病院の待合室で少女漫画をチェックしていたら出てきた作品。

見つけた時には、もはや、確認のためには、「恥も外聞もなくなってきたな」と実感した日でした。(泥沼に落ちていく気配……)



次は、琉球民謡歌手・登川誠仁を紹介した「**第102夜 沖縄の歌神 登川誠仁**」(山田玲司/著 小学館刊「**絶望に効く薬 vol.11**」収録)。

人生に絶望した人々に贈る生きる希望の光。各界の著名人からその人生観についての珠玉の言葉を集めるといふ対談コミック。

登川誠仁の語る、浮き沈みの激しい人生で得た人生訓とは？

「**第123夜 サウスホープ 前川真悟**」(山田玲司/著 小学館刊「**絶望に効く薬 vol.14**」収録)では、「かりゆし58」ヴォーカル・ベースの前川真悟が登場します。

荒れた少年時代、どん底を知っているからこそ語



れる人生の財産とは？



**「妖しのセレス 第6巻」(渡瀬悠宇/作 小学館刊)**は、天女の生まれ変わりを巡るミステリー少女漫画。第6巻では、沖縄出身の歌手(架空)がコンベンションセンターで歌うというシーンが出てきます。

人気作品でもあったので知っている方は多いはずですが、沖縄との関連を知っている方はあまり多くない？ストーリーの方がドラマチックなためかな？



**「第83話 砂に書いたラブレター」(「代打屋トゴ 第7巻」たかもちげん/著 講談社刊収録)**は、沖縄出身の女性アイドル歌手・杉本かおり(架空)が、歌手としての生き方に疲れ、故郷で別れた男性の下へ帰るため、何でも引き受け屋のトゴに手助けを頼むというストーリー。

本当の幸せがどこにあるか？型にはまった解釈に沿ったストーリーですが、さとうきび畑で黙々とキビ刈りするたくましい青年の姿が、沖縄らしくて良い？かな。



さて、AKBとかアイドル乱立時代を表すマンガの中にも、沖縄出身設定のアイドルキャラクターが。

**「アイドルマスター2」第1巻(原作/バンダイナムコゲームス 作画/しゅー アスキー・メディアワークス刊)**

芸能事務所・765に集う個性豊かなアイドル14人の一人、我那覇響ちゃんがそう。

トップアイドルめざして、事務所と一緒にオーディションやPV撮影等などのお仕事に励むのだが、別メンバーが迷子になって沖縄に行ったり、いろいろと騒動が巻き起こり…。

アイドル育成ゲームから生まれたキャラクターたちだけど、ネット検索すると我那覇響ちゃんは意外と人気者みたいです。時代はすごい勢いで変わっていると思います。



最後に、沖縄出身の歌手の先駆け、そして伝説のアイドルでもある南沙織を紹介した作品をご案内して、終わりたいと思います。

**「南沙織物語」(漫画/三晃たける 原作/武論尊 「週刊少年ジャンプ」1972年掲載)**

ジミーの死を乗り越え、「17歳」を歌う南沙織。(芸能記事に疎い私には、ストーリーが本当かどうか、まったくわかりません。

昔、地元のTV番組「オキコわんわんチャンネル」でプロデビューの紹介をしていたことは、なぜか今でも覚えています。

沖縄出身の歌手で最近のマンガで紹介されているのは、確認できません。代わって、アニメ等で沖縄出身として設定されたキャラクターが増えているようです。

アニメ「アイカツ！」158話「会いたくて、沖縄」では、美ら海ビートアカデミーに通うという波照間みなみというキャラクターが登場しています。ほかにもあるかもしれません。

今回はこの辺で結びといたします。

担当/量産工房